

2019年11月17日

日本野鳥の会郡山支部

2019年カッコウ調査報告書

郡山市の鳥はカッコウです。当支部では、カッコウの飛来数の調査を20年以上行ってきました。この調査を通じ、身近な自然に対する関心が深まればと考えています。

本年度の結果がまとめましたのでご報告いたします。

1. 調査日時 2019年6月10日（月）午前7：00～7：05
(5分間)

2. 調査方法 観察者が上記の時間帯にいた場所でカッコウの声を聴いたかどうかについてアンケートに答える。

3. 調査対象 郡山市内小学校・中学校の児童生徒
日本野鳥の会郡山支部会員
一般市民の協力者

4. アンケート数

	配布アンケート数	回収アンケート数	前年度回収数
小学校	(57校) 5135枚	(46校) 1477枚	(46校) 1462枚
中学校	(29校) 2700枚	(20校) 1158枚	(21校) 1040枚
会員・一般	1141枚	298枚	472枚
計	8976枚	2933枚	2974枚

5. アンケート集計結果

	2019年度		(前年度)	
回収アンケートの内有効なもの	2745枚	93.6%	2713枚	91.2%
調査時間内に聴いた	115	4.2%	217	8.0%
調査時間外では聴いた	949	34.6%	932	34.4%

6. 結果の処理 A 時間内に聴いた場所を地図上に●でプロットする。

ア 市街地 ··· 1/75000 郡山市街地図

イ 郡部 ··· 1/200000 郡山全図

7. カッコウの個体数の推計方法

プロットされた点のうち、近い点同士は、同一個体の鳴声を複数の観察者が聴いたとも考えられる。そこでカッコウの声の届く範囲を考慮し、次のように決めた。

一定の半径の円を描き、円1つには少なくとも1羽のカッコウ（雄）がいたとみなすことにして、円を描く。

声の届く範囲は環境に大きく左右されるため、次の3段階とする。

市街中心部 ··· 半径300mの円

市街部 ··· ··· ··· "400mの円

郊外部 ··· ··· ··· "500mの円

これらの円を描くにあたっては、1つの円に出来るだけ多くの●点を含み、描いた円同士

が交叉しないで、なおかつ描く円の数が出来るだけ少なくなるように作図する。

こうして描かれた円内には、最低1羽の雄のカッコウがいるものと推測でき、そのエリア内で縄張り宣言し、雌への求愛をおこない繁殖が行われているものと考えられる。そして地図上の円1つには、1つがい(2羽)のカッコウが生息しているとみなし、生息数を推定した。

8. 2019年度のカッコウの生息数 (末尾資料地図参照)

ア市街地

$$\boxed{\text{円の数 (45) } \times 2 = 90 \text{ 羽}}$$

前年度 (73) 146羽

イ郡部

$$\boxed{\text{円の数 (7) } \times 2 = 14 \text{ 羽}}$$

前年度 (13) 26羽

合計 104羽

(前年度 172羽)

9. 本年度の結果について

○分布 円の数

ア市街地	円の数	前年度	イ郡部	円の数	前年度
阿武隈川流域	5	11	阿武隈川の東	3	7
高速道西側	4	6	熱海地区	1	1
逢瀬川北側	11	22	多田野・三穂田地区	3	2
笠原川南	3	6	湖南地区	0	3
市の中心部	6	5	計	7	13
大槻・安積町	16	23		合 計	52
計	45	73			86

○推定個体数は円の数で52(104羽)となりました。

○調査時間(6月10日7:00~7:05)内に聞いたという確認率は下がり、調査時間外には聞いたという割合は昨年とほぼ同等でした。

○市街地では、市の中心部より郊外地での確認数が減っておりました。

環境の影響でしょうか。葦原などの減少など。

○郡部でも確認数が減りました。郡部では市街地に比べ児童生徒の数が少なく、数字に反映されていない可能性も考えられます。

○この調査を通じて、会員はもとより調査に協力してくれた児童生徒、さらに一般市民の方々も、カッコウばかりでなく、野鳥に目を向けることで身のまわりの自然への関心を高まっていると思われます。(資料のアンケートに寄せられたコメント参照)

○毎年の事ですが、今年度も、アンケート用紙の不足分を校内で増刷りいただく等、積極的に調査に協力下さり感謝申し上げます。

10. ツバメの営巣調査について（おまけの調査）

		2019 年度		前年度	
今年ツバメを見ましたか？	見た	2099 名	76. 5%	2100 名	77. 4%
近くに巣がありますか？	ある	1181	43. 0%	1132	41. 7%
そのうちツバメが出入りしている巣		960	81. 2%	972	85. 8%

ツバメが出入りしていると回答のあった 960 名の方々の場所を地図に「ツバメ営巣調査」として、資料を末尾に添付しました。

地図上の点 1 つが、巣 1 つを示す訳ではなく、同じ巣を多くの観察者がアンケートに回答されていることも考えられますが、カッコウの分布と異なり、市の中心部も含めて全域に分布しており、ツバメの繁殖が街中でも広く行われていることがわかります。

ツバメはカラスや蛇などの天敵から身を守るために、学校や公共施設、商店、人家など、人の暮らしに頼って営巣する場所を決めていることによるものと考えられます。

この調査に関係された皆様に心から感謝申し上げます。

日本野鳥の会郡山支部 調査研究部

アンケートコメント一覧

【カッコウに関して】

- ① 他の鳥は鳴いていた。今日(6/10)は雨だから鳴かないのかも。
- ② 6月1日ごろから3~4日間 毎朝6:00ごろと、夕方18:00ごろカッコウがないしていました。
- ③ 朝日ヶ丘小学校の西側の木の上から聞こえました。
- ④ 朝は、カッコウの声でめざめました。
- ⑤ カッコウは6/9(日)PM5:00頃 6/10(月)PM よく鳴いていた。姿も目視できた。その後そんなに鳴き声は盛んには聞かない。6/13(木)
- ⑥ ここらへんには、カッコウがいません。
- ⑦ 毎朝6:30~6:50頃近くの電線にきて止まって鳴きます。
- ⑧ 今年も家の近くで時々カッコウが鳴いています。残念ながらツバメの巣がカラスに襲われてしまいました。
- ⑨ 初鳴き5月28日
- ⑩ 6月5日午前6時30分頃初めて大槻小学校付近で鳴き声を聞きました。そのあとは聞いていないですね。
- ⑪ 例年5月末には聞かれるのですが、今年は初めて聞いたのが6/9AM6:30頃でした。
- ⑫ 5月の中頃より鳴き声は聞こえました。午前中です。当日は鳴き声は聞けませんでした。
- ⑬ 今年はカッコウだけでなくオオルリ・キビタキも1度も見ていないし、鳴き声も聞かない。
- ⑭ 昨年来てくれたツガイらしきカッコウ2羽は前後の雨も強かった為か、今年は姿を見れませんでした。何とも言えない鳴き声で相手を呼ぶのです。鳥よりネコ?とても不思議な声です。(長く引く高い音)同じアンテナに羽を広げて寄り添う姿はとてもステキ!来年は晴れますように。

【ツバメに関して】

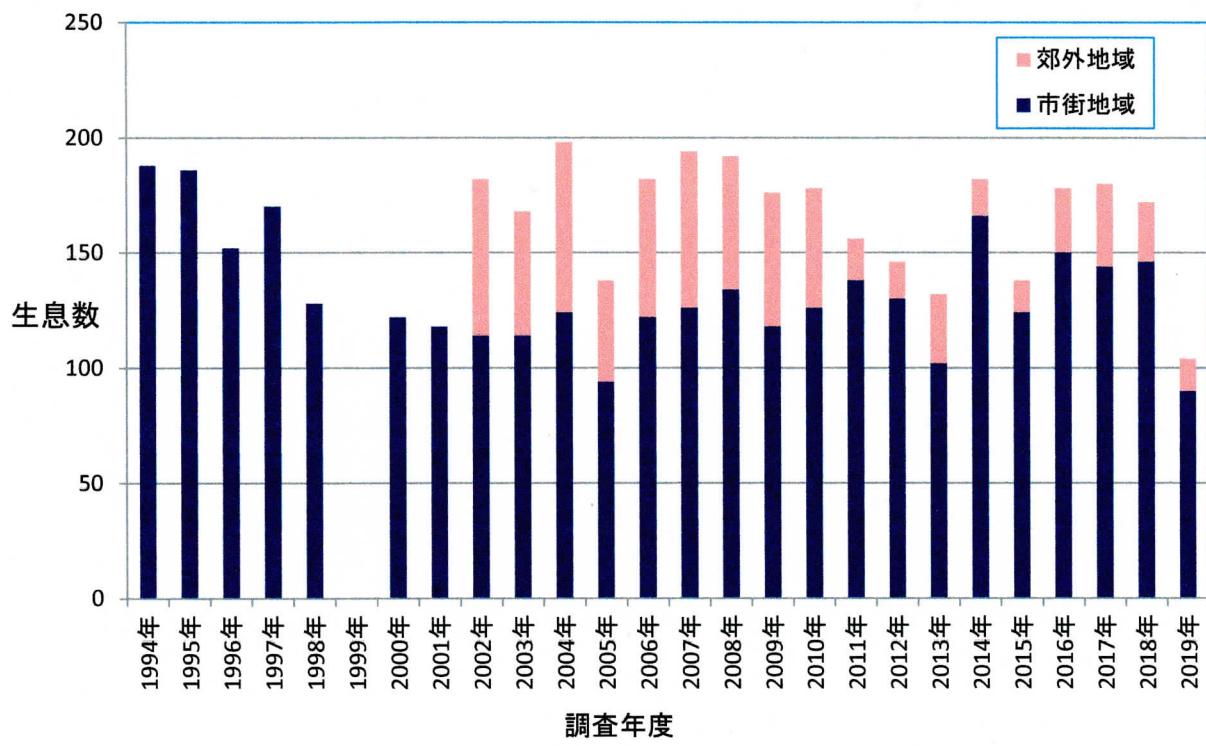
- ① 今年初めて4/6(土)にツバメを見た。ツバメの巣は久留米地域公民館軒下にあり(去年もあり)ツバメが出入りしていた。
- ② 近くではないけれど、集合場所にツバメの巣がありヒナがいる。
- ③ 明健中103 6/8 小学校の体育館そばにツバメがいた
- ④ 6/10 通勤途中に日和田町近くの田園にツバメが数十羽低く飛んでいた。
- ⑤ 10年目でツバメが初めて「営巣」

【その他】

- ① ウグイスやキジの鳴き声はよく聞こえる。
- ② カラスがいすぎてこまります。KFBの上の方に多分、カラスの巣があります。
- ③ 最近いすぎて、駐車場にカラスの羽やフンがいっぱいです。
- ④ 家に近くによくキジがいる。
- ⑤ 春の季節にウグイスが鳴いている。
- ⑥ 近くの田んぼにシラサギがいる。
- ⑦ トンビは見たことがあります。巣も。
- ⑧ カッコウは聞かないがキジの鳴声はよく聞く
- ⑨ 松が丘団地の由来はアカマツ林です。40年前を知る人はマツ林にはマツタケ・シメジが自生していて道よ
り見えたそうです。モズ・オオヨシキリ(近辺に沼が多かった。)オナガが沢山いました。
- ⑩ コムクドリは5月20日2羽自宅向いのアンテナで確認しました。

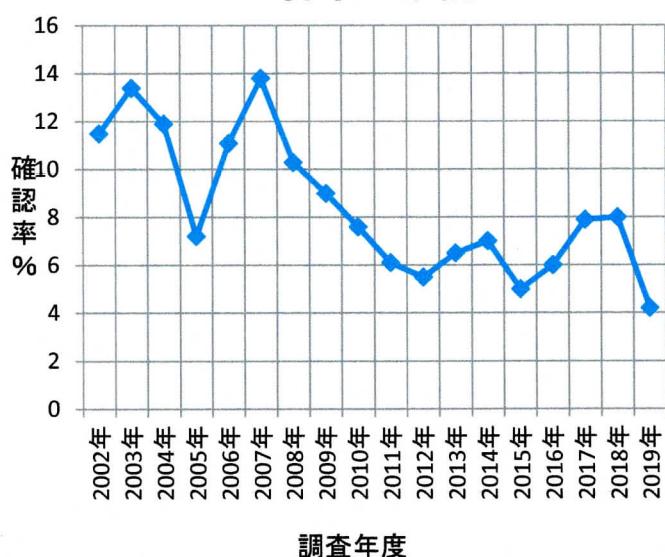
カッコウ飛来数の変化

推定生息数

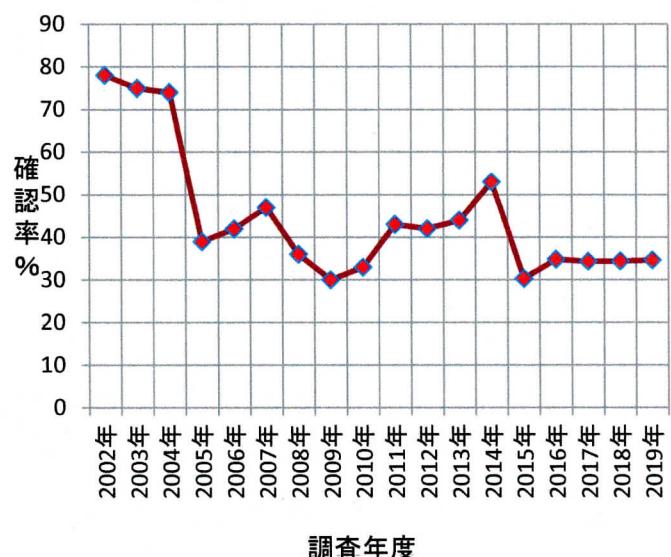


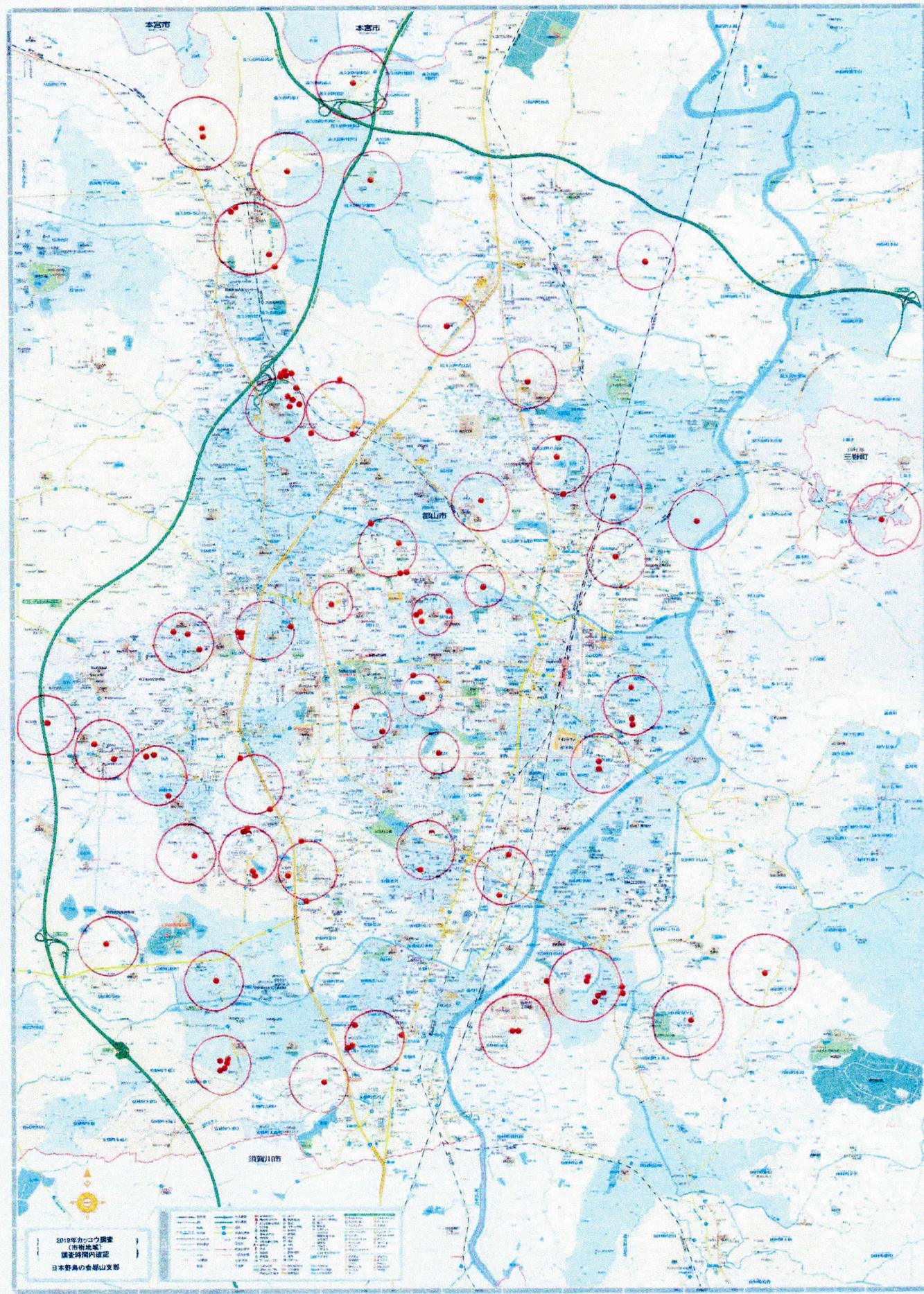
カッコウの鳴き声の確認率

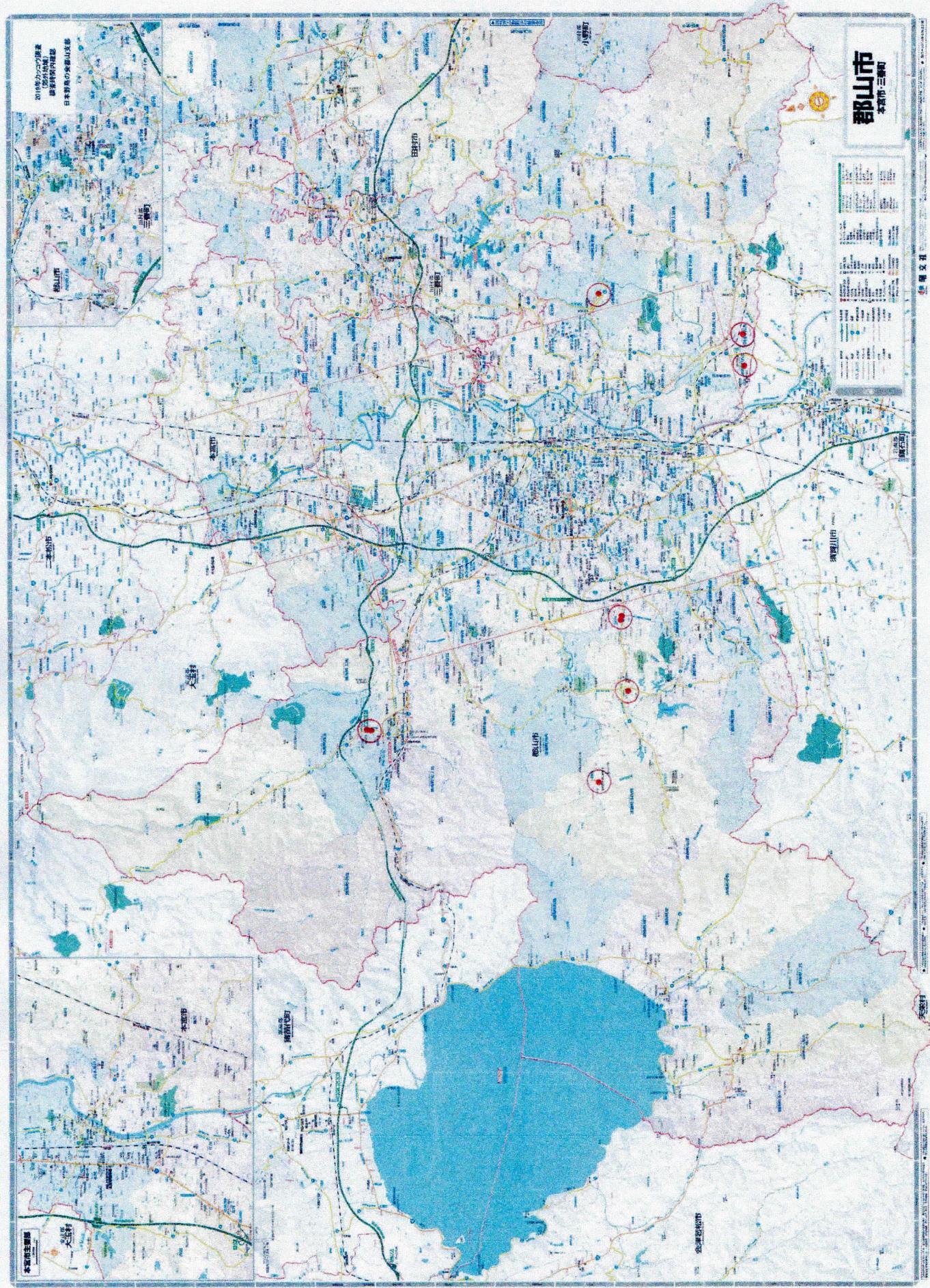
調査時間中(5分間)に聞いた

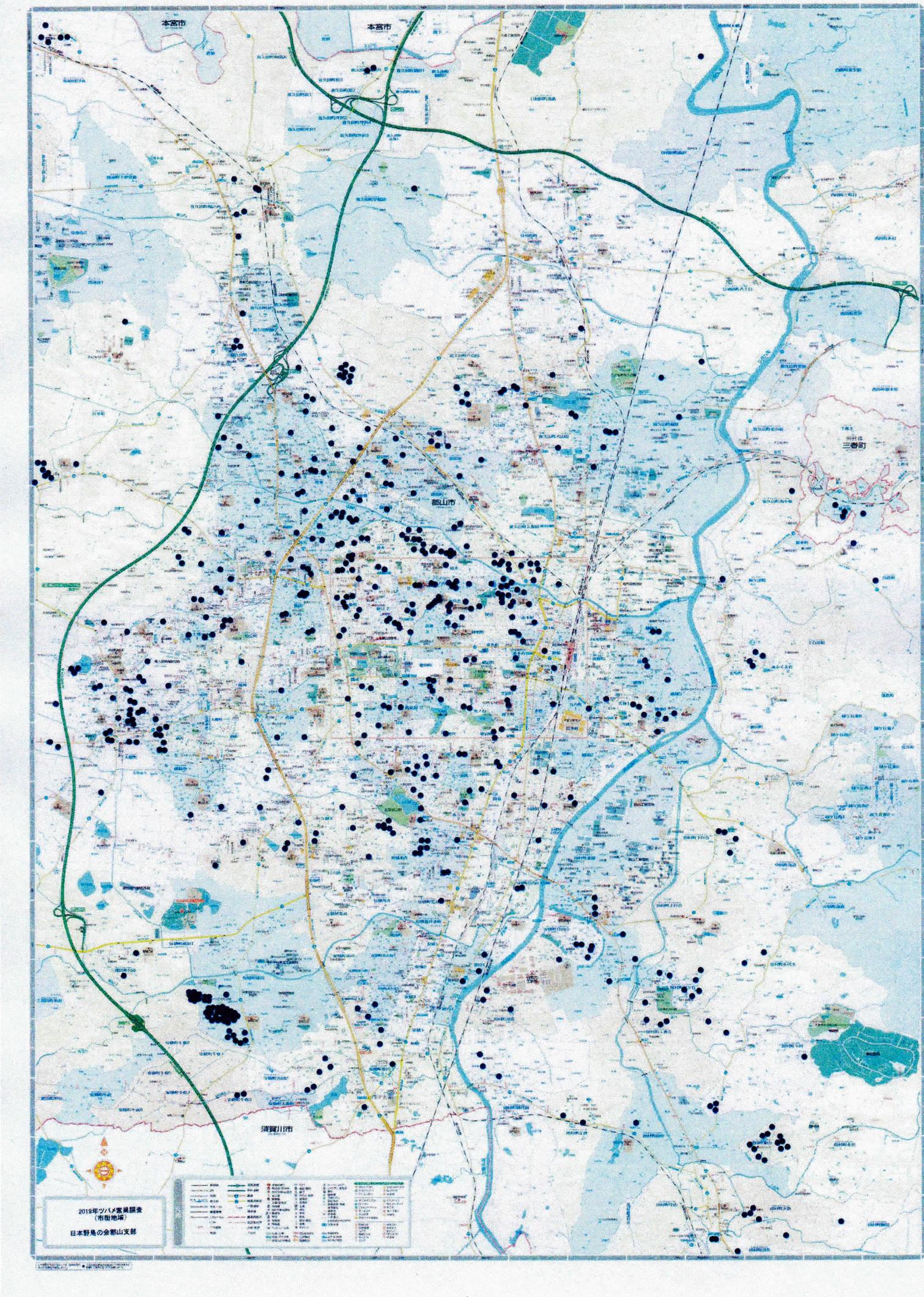


調査時間以外に聞いた









郡山市

2019年3月版

東文社

